

東北公益文科大学 大学院
～公開講座「特別プログラムⅠ・Ⅱ」最終講～
「庄内地域から考える政治・行政のあり方」

公開講座、特別プログラムⅠ「庄内地域から選挙制度改革を考える」と特別プログラムⅡ「庄内地域における自治・分権再考」の最終講を公開で行います。

当日は、客員教授の佐々木毅氏と西尾勝氏の両氏を招き、受講生の発表をふまえ、これからの政治・行政のあり方を考えます。

【日時】 平成26年3月15日(土) 15:00～17:00

【場所】 東北公益文科大学・鶴岡キャンパス 大学院ホール

【内容】 ○講座受講生による発表

・特別プログラムⅠ「庄内地域から選挙制度改革を考える」

・特別プログラムⅡ「庄内地域における自治・分権再考」

○講評と対談 佐々木 毅氏 西尾 勝氏

特別講師：東北公益文科大学客員教授 佐々木 毅 氏

【現職】 東京大学名誉教授、日本学士院会員

【経歴】 東京大学総長、文部科学省中央教育審議会大学分科会会長
学習院大学法学部教授等を歴任



特別講師：東北公益文科大学客員教授 西尾 勝 氏

【現職】 後藤・安田記念東京都市研究所理事長、第30次地方制度
調査会会長、日本学士院会員

【経歴】 東京大学法学部学部長、国際基督教大学教授、内閣府
地方分権改革推進委員会委員等を歴任



【特別プログラム I・IIの概要】

特別プログラム I 「庄内地域から選挙制度改革を考える」 講師：教授 和田 明子

選挙制度が公正なものであることは、私達主権者が選挙を通じてより良い社会を創っていくための必要条件である。しかしながら、わが国の選挙制度はいわゆる「一票の格差」が違憲（状態）判決を受けており、一部定数は是正も行われたが未だ大きな格差がある。

一方で、「一票の格差」が是正されると地方の選挙区の議員定数は今以上に削減される。地方の声が中央に届きにくくなるという、地方にとっては大きな問題が生じる。

そこで本プログラムでは、今後行われるであろう抜本的な選挙制度改革を見据えて、選挙制度のあり方を庄内地域から提言する。具体的には、「一票の格差」を是正しながらも地方の実情を反映する衆参両院の選挙制度のあり方を考えていきたい。

特別プログラム II 「庄内地域における自治・分権再考」 講師：准教授 内藤 悟

1993年地方分権推進決議から20年が経過した。機関委任事務が廃止された第1次分権改革、三次にわたる分権一括法や地方自治法改正に到る第2次分権改革、さらに併行して強力に推進された平成の市町村合併の進展により、基礎自治体を取り巻く環境は大きく変わることになった。このような中で、庄内地域（山形県内の地域区分では市町村合併が進んだ唯一の地域）では2005年の合併以来8年経過したが、一層の人口減少・高齢化が進行する中で、広域化した自治体内部の住民自治のあり方、2圏域による定住自立圏構想、県との関係や自治体間連携など、新たな自治の姿が模索されている。本プログラムでは、国内の地方制度改革の中で、庄内地域のこれまでの地域自治を検証するとともに、今後の基礎自治体のあり方について、住民、自治体関係者を中心とした検討を踏まえて地域からの提言を行う。



<p>お申し込み方法</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●参加費 無料 ●定員 30名（申込順） ●申込方法 電話、FAX、電子メールのいずれかで下記事項をお知らせの上、お申し込みください。 *講座名 *氏名（ふりがな）*住所 *電話番号 *所属（会社・学校名）*メールアドレス ●申込締切 3月14日（金）（定員になり次第、締切らせていただきます） 	<p>●会場案内図（鶴岡市馬場町14-1）</p>
<p>お申し込みお問い合わせ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●東北公益文科大学大学院事務室 〒997-0035 山形県鶴岡市馬場町14-1 TEL：0235-29-0555 FAX：0235-29-0556 E-Mail：gs@koeki-u.ac.jp URL：http://gs.koeki-u.ac.jp 	